

本講習会は、「車いすシーティング」に関する技能者を育成することにより、利用者のさまざまなニーズに応じていくことを目的としています。車いすに代表される福祉用具は、「交付・給付」という考え方から「選択・適合」の考え方に供給の概念を変革し、個々の利用者にとって、まさしくマッチした用具を供給することが、私たち供給者・専門家と呼ばれる職種のあるべき姿だと考えています。

本講習会は、このような目的・考え方のもとに過去6回開催し、500名を超える修了者を輩出しています。さらに多くの修了者を育成することにより、利用者に安心して車いすをご利用いただく環境づくりに貢献したいと考えています。

この機会に体系的な学習を通じて必要な知識を身につけていただければ幸いです。

- 参加対象者：車いすシーティングに関する経験がおおむね3年以上の方、義肢装具士、介護福祉士、ホームヘルパー1級取得者、福祉用具供給事業所所属の理学療法士・作業療法士、その他
○講習会修了者には当協会発行の講習修了証を発行します。

●実施要領

主催：有限責任中間法人日本車いすシーティング協会

共催：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

後援：(財)テクノエイド協会

日程：2008年11月20日(木)～24日(月) 5日間

会場：横浜市総合リハビリテーションセンター及び横浜ラポール(横浜市港北区烏山町1770)

参加費：テキスト代・昼食代を含む

宿泊：希望の方は裏面にてお申し込み下さい

●一般 60,000円 ●日本車いすシーティング協会会員 50,000円

●供給事業所所属の義肢装具士・理学療法士・作業療法士の方で、第一日目の講義受講を希望されない方は、10,000円減額となります。

●懇親会(11/23 19:00～21:00) 希望者6,000円

●講習会カリキュラム (変更になることもあります。予めご了承下さい)

	11/20 (木)	11/21 (金)	11/22 (土)	11/23 (日)	11/24 (月)
9:30-11:00		支給システムと今後の展望 伊藤 利之	車いすシーティングのための障害学(小児・先天性障害) 小池 純子	障害者福祉論 河野 康徳	小児の姿勢評価① 染谷 淳司
11:10-12:40		車いす適合基本論 沖川 悦三	車いすの用語と規格 佐藤 正之	姿勢保持装置の歴史と展望 繁成 剛	小児の姿勢評価② 染谷 淳司
12:40-13:40	開講式 13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:40-15:10	基礎生理学 秋田 裕	車いす適合実践論(移乗・姿勢) 松尾 清美	駆動のバイオメカニクス 田中 理	姿勢保持装置適合基本論 飯島 浩	褥そう対応 木之瀬 隆
15:20-16:50	基礎解剖学 秋田 裕	車いす適合実践論(環境) 松尾 清美	車いすシーティングのための障害学(成人・中途障害) 桂 律也	姿勢保持装置適合実践論 飯島 浩	閉講式
17:00-18:30	装具概論(仮題) 講師招聘中	高齢者のシーティング 加島 守	姿勢のバイオメカニクス 桂 律也	姿勢保持装置適合応用論 橋本 和雄	

予定講師(敬称略・50音順)

秋田 裕(横浜市総合リハビリテーションセンター)
飯島 浩(横浜市総合リハビリテーションセンター)
伊藤利之(横浜市総合リハビリテーションセンター)
沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター)

加島 守(高齢者生活福祉研究所)

桂 律也(クラーク病院)
河野康徳(前昭和女子大学)
木之瀬隆(首都大学東京)
小池純子(横浜市総合リハビリテーションセンター)

佐藤正之(日本福祉用具評価センター)

繁成 剛(東洋大学)
染谷淳司(東京小児療育病院)
田中 理(横浜市総合リハビリテーションセンター)
橋本和雄(こつば舎)
松尾清美(佐賀大学)

受講希望者は裏面にご記入いただき、FAXにてお申し込み下さい。

FAX送信先:03-6206-0765

なお、インターネットE-mailでお申込の場合は、ご所属・お名前・所有資格・ご連絡先を明記のうえ、下記に送信してください。

E-mail:info@j-aws.jp

